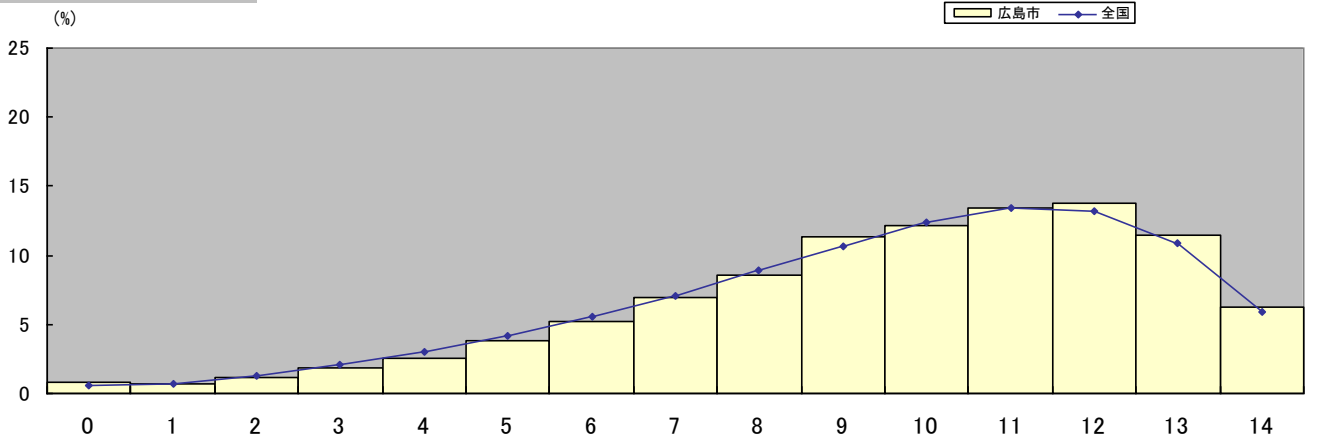


2 各教科の調査結果の分析及び考察

【小学校国語】

国語

【正答数の分布状況】



(正答数)

【学習指導要領の内容ごとの定着状況】

学習指導要領の内容		平均正答率(%)	
		全国	広島市
教科全体		67.7	69
知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	64.4	65.1
	情報の扱い方に関する事項	86.9	88.7
	我が国の言語文化に関する事項	74.6	74.0
思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	59.8	61.6
	書くこと	68.4	69.7
	読むこと	70.7	71.2

【評価の観点ごとの定着状況】

評価の観点	平均正答率(%)	
	全国	広島市
知識・技能	69.8	70.5
思考・判断・表現	66.0	67.2

【問題形式による定着状況】

問題形式	平均正答率(%)	
	全国	広島市
選択式	69.9	71.0
短答式	59.7	60.4
記述式	64.6	64.8

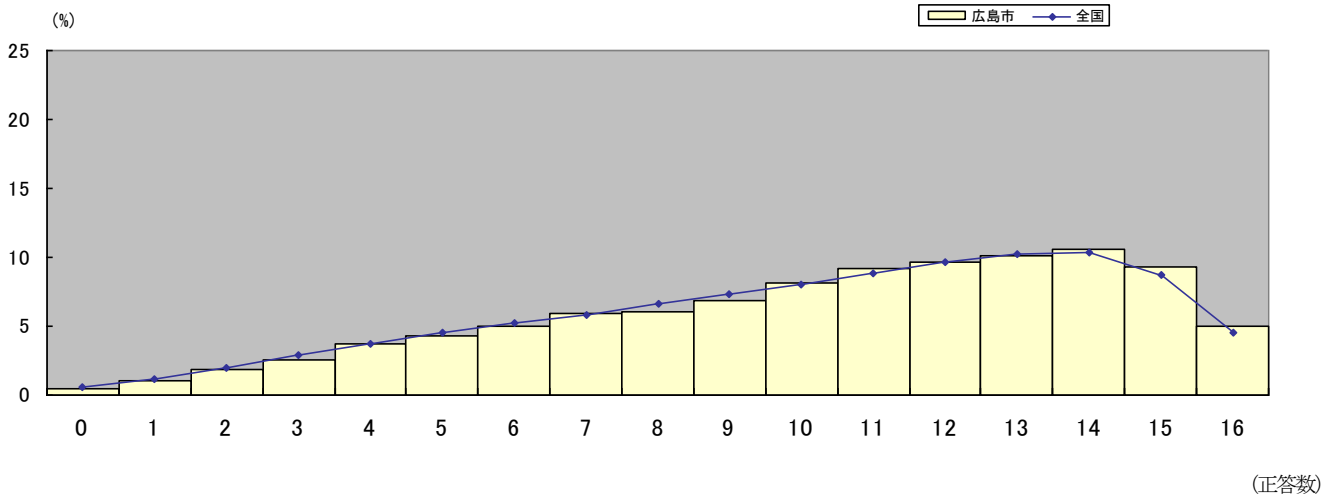
定着状況等

- ◆ 教科全体の平均正答率は、全国平均をやや上回っている。
- ◆ 全国平均と同様に、分布が右よりの山形となっている。
- ◆ 知識及び技能「言葉の特徴や使い方に関する事項」、「情報の扱い方に関する事項」、「我が国の言語文化に関する事項」については、平均正答率がそれぞれ 65.1%、88.7%、74.0%で、学習内容はおおむね定着していると見られる。
- ◆ 思考力、判断力、表現力等「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」については、平均正答率がそれぞれ 61.6%、69.7%、71.2%で、学習内容はおおむね定着しているが見られるが、目的や意図に応じて、事実や感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること（正答率 57.8%）に課題がある。
- ◆ 評価の観点では、知識・技能、思考・判断・表現ともに全国平均をやや上回っている。
- ◆ 問題形式別では、選択式、短答式、記述式のいずれも全国平均をやや上回っている。

【小学校算数】

算数

【正答数の分布状況】



【学習指導要領の領域ごとの定着状況】

学習指導要領の領域	平均正答率(%)	
	全国	広島市
教科全体	63.4	64
数と計算	66.0	66.9
図形	66.3	68.1
変化と関係	51.7	51.4
データの活用	61.8	63.0

【評価の観点ごとの定着状況】

評価の観点	平均正答率(%)	
	全国	広島市
知識・技能	72.8	73.2
思考・判断・表現	51.4	52.8

【問題形式による定着状況】

問題形式	平均正答率(%)	
	全国	広島市
選択式	75.3	76.2
短答式	62.0	62.7
記述式	51.0	52.2

定着状況等

- ◆ 教科全体の平均正答率は、全国平均をやや上回っている。
- ◆ 全国平均と同様に、分布が右よりの山形となっている。
- ◆ 「数と計算」、「図形」、「データの活用」については、平均正答率がそれぞれ66.9%、68.1%、63.0%で、学習内容はおおむね定着していると見られるが、球の直径の長ささと立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すこと（正答率38.4%）には課題がある。
- ◆ 「変化と関係」については、平均正答率が51.4%であり、道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できること（正答率30.6%）に課題がある。
- ◆ 評価の観点では、知識・技能、思考・判断・表現ともに全国平均をやや上回っている。
- ◆ 問題形式別では、選択式、短答式、記述式のいずれも全国平均をやや上回っている。